

## 四谷文化センター圏域自主防災連絡会 アンケート集計結果

### 1 回答者数

26人

#### (1) 年代別

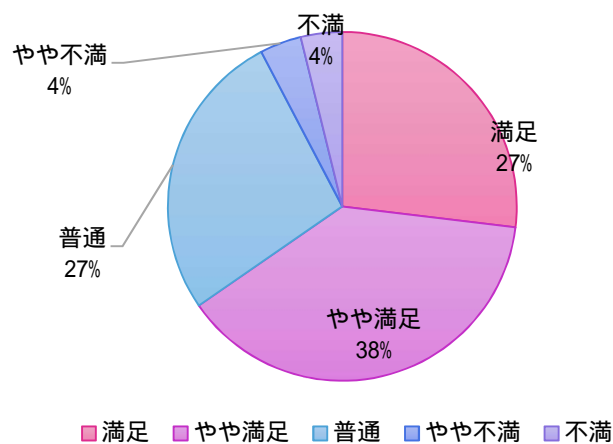
年代	回答者数(人)
20代	2
30代	0
40代	1
50代	1
60代	9
70代	13

#### (2) 性別

性別	回答者数(人)
男	19
女	7

### 2 各設問について

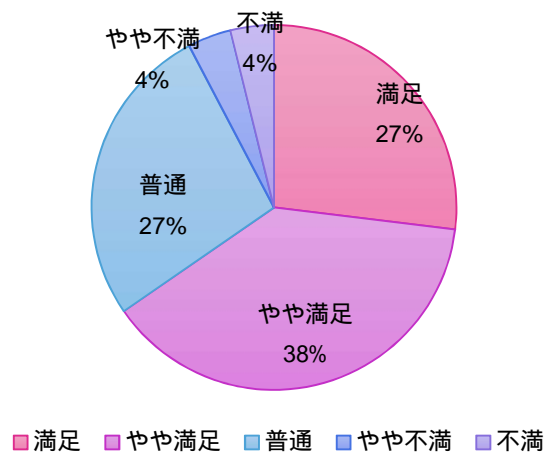
#### (1) 本日の説明会はいかがでしたか



#### 理由等

- ・多摩川流域治水についての説明(満足)
- ・資料がきちんと作られていた。(満足)
- ・避難所対応(やや満足)
- ・もう少し、避難時の対策等について聞きたかった。(やや満足)
- ・マスクを着用しながらの説明・発言・質問は聞き取りにくかった。(普通)
- ・以前の経験も生かして細かいディスカッションができています。(やや満足)
- ・説明(資料)の不備(不満)

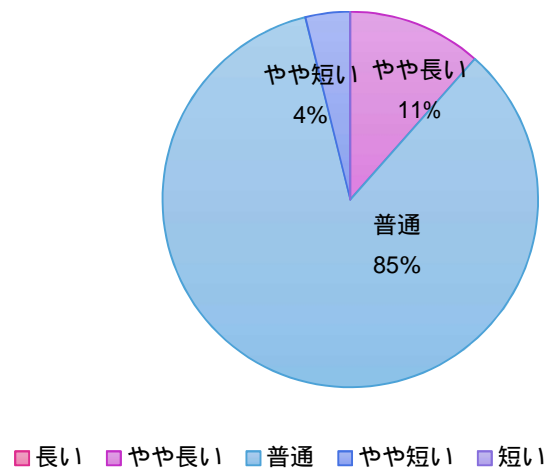
(2) 説明は理解できましたか



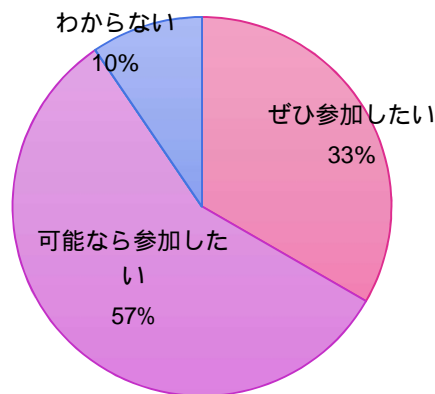
理由等

- ・説明がわかりやすかった。(理解できた)
- ・専門の方々の説明も細かく聞いた。(理解できた)
- ・理解できたけど市と都をあてにせず自分で自分を守るしかない。(理解できた)
- ・満足できないけど説明内容は理解できた。(理解できた)

(3) 説明の時間はどうでしたか



(4) このような機会があれば、また参加したいですか



■ぜひ参加したい ■可能なら参加したい ■参加したくない ■わからない ■

理由等

- ・ 実担当者の話が聞けるのはよい。(ぜひ参加したい)
- ・ これからの四谷地域の安全対策を知りたい。(ぜひ参加したい)

(5) 自由記述

○風水害時の避難のありかたについて

- 垂直避難の取り扱いについて再検討をお願いしたい。(70代男性)
- 垂直避難を推奨しないという市の方針は理解できるが、危険が間近に迫っている際、命を守るために垂直避難を行うことはやむを得ないので、これは禁止すべきではない。また、要援護者の問題について、市でも検討を進めているとのことだが、その途中経過においても情報を発信してほしい。(80代男性)
- 災害時(おそらく水害時) 四谷文化センターと四谷公会堂等も使用できないか。水害発生時、第四中学校、第十中学校へ避難するのは遠く、年配の方には困難である。(四谷文セ・公会堂の)二箇所へ避難させ、民生委員や担当部署が車などで(浸水想定区域外に)連れていけないだろうか。また、四谷地区では高齢者が多いので、要援護者のリストを作成し、日頃から民生委員による見廻りを行う必要があると思う。(70代)

○行政による風水害対策について

- 都と市は水害の対策計画をたてるのが遅い。災害は今、発生する可能性があるので一日も早く策定すべき。何年もかけてはならない。(60代女性)
- 想定浸水深表示看板について、電柱に付けられているのはありがたい。

しかし、(浸水深の)数字を表示されても水位が実際どの程度の高さになるのかわからない。多摩市では推移を電柱に赤いマークを付けることで表示していた。府中市も改善してほしい。(70代男性)

○要援護者への支援について

- 要援護者の支援について、自治会加入者以外については避難所が中心となり実施するとのことであったが、自主防災連絡会も立ち上がっているので文化センターを中心とした体制にすべき。また、震災発生時は、在宅避難者への支援も文化センターが中心となって行ってほしい。(70代男性)
- 自治会ごとに集まり、話し合う機会があるとよい。また、各班長が各家庭に声掛けをしにいくのがよい。(70代女性)

○会議全体について

- 現状、様々な問題があることが理解できた。しかし、今回説明された内容についての資料がなかったので、簡易な資料を配布すべき。特に市担当者の配慮をお願いしたい。(80代男性)
- 第一部の内容について、地域全体(の住民が)で聞けるような機会を多く設けてほしい。(60代男性)
- ありがとうございました。(20代女性)
- 課題がたくさんあるとわかった。(60代女性)
- 四谷圏域の防災対策について、多方面から理解を深めることができた。(20代女性)